

# 小学校教師による ペアレントトレーニング短縮版 「子育て学習会」の実践報告



株式会社LITALICO  
LITALICO研究所 所長  
野口 晃菜氏

## 1

### LITALICOジュニアの取組

LITALICOジュニアには発達障害のある子どもを中心とした多様なニーズにある子どもが約8,000名通っています。平均週に1回LITALICOジュニアに来所し、学習面や対人面など、個々のニーズに合わせた指導・支援をしています。LITALICOジュニアでは困難な状況があるとき、その要因は子どもの障害そのものにあるのではなく、子どもと子どもを取り巻く環境の相互作用の中にあると考えています。そのため、子どものみでなく、家族や園・学校など、環境への支援を大切にしています。LITALICOにおけるペアレントトレーニング（以下ペアトレ）は子どもに合わせた具体的な関わり方を家族が知ることで、子どもとより良い関係性を築けることを目的にし、家族支援の一環としておこなっています。

## 2

### 戸田市におけるペアレントトレーニング短縮版「子育て学習会」の効果

2018年度に希望される先生向けに研修（夏休みに6時間の座学研修、その後ペアトレ見学）をし、その後各先生が7校にてLITALICOペアトレ短縮版である「子育て学習会」を3日間（各90分）にかけて実施しました。子育てに困りごとを抱えている保護者向けに募集をした結果、43名の保護者が受講しました。内容は「ほめるハードルを下げる」などほめるコツを学ぶ「ほめ上手」、「予定や指示を視覚的に示す」など環境を整えるコツを学ぶ「整え上手」、「具体的に伝える」など伝え方のコツを学ぶ「伝え上手」です。

その結果、保護者の抑うつ状態の改善、肯定的な関わりの増加、子どもの行動問題の改善がみられました。子どもの在籍級は通常学級が多く、通常学級にいらながらも支援ニーズのある子どもに対して、「子育て学習会」で保護者を通じて効果的な支援ができる可能性が示されました。また、学習会を実施した先生の効果として、保護者対応、生徒の意欲を引き出す関わり、指導法に関する自己効力感の向上が見られました。実施後のアンケートにおいても、「学級経営にも役立った」との回答があったことから、「子育て学習会」は保護者支援のみでなく、先生の子どもへの関わり方を学ぶ機会としても有効であると考えられます。一方で、研修や実施時期が他の行事などと重なってしまい負担であったとの声もありました。

## 3

### 今後の展開

これまでの課題を踏まえ、今後は夏休み期間中の実施や研修時間の削減等、負担を減らしながら多くの必要とする保護者に届けられる仕組みを検討しています。2020年度は更に多くの学校、多くの保護者向けのペアトレ実践を予定しています。子どもの行動問題を子ども自身のせいにして、学校や家庭が責任を押し付け合ったりするのはなく、子育て学習会を通じて共通言語を持つことで子どもを中心とした支援ができるということを今後も戸田市と一緒にチャレンジしていきたいです。